

日本語・英語以外の言語での教員業績について

- 中国語 P1～
- 韓国語 P14～
- ドイツ語 P18～

姓 名	邵 忠
职 务	教授
所在单位	岡山商科大学経営学部経営学科
研究成果	
<p>(レフェリーなし)</p> <p>(4) 日本技術イノベーションの成功と失敗からの示唆(原題名：日本技術創新成敗的启示)単著 2013.6 中国高新区 (上半月刊) 2013 年 第 12 期、総第 148 期、pp.174～179 (中国語)</p> <p>摘要：</p> <p>以明治維新為起點的日本工業化技術發展路線，引導日本率先在亞洲跨入了先進國家行列。第二次世界大戰後日本的“技術立國”戰略通過建立官民一體的技术創新體制，確立了日本在科學技術領域的優勢地位，并使日本在較短的時間內成為了世界第二經濟大國。</p> <p>然而，20 世紀 80 年代中期發生的大幅度日元升值和 90 年代初期日本泡沫經濟破滅大大削弱了日本企業在國際市場的競爭優勢，迫使日本企業，特別是勞動密集型企业為了降低生產成本將生產基地轉移到發展中國家。由於研發與生產的分离脱節，日本的技术优势未能得到充分的施展。</p> <p>本文將通過考察日本技術优势形成的過程探索其成功的經驗，同时对日本企業的高技術优势换来的低收益問題、技術陳腐化日益加速和技術流失等問題稍加議論，旨在為我國企業開展技術創新，增加企業效益提供一些參考和借鑒。</p>	

学術論文

(7) 武漢の都市と農村住民の収入差変化と新都市化発展との関連分析 (原題名: 武汉市城乡收入差距变化与新型城镇化发展的关联性分析) 共著 2014.5 武漢理工大学学報 社会科学版 2014年、第3期 pp.367~373

摘要:

城乡居民收入差距的扩大是中国经济发展中所面临的重要问题。其中城镇化是影响居民收入差距大小的重要原因之一。利用1985-2010年武汉市时间序列数据建立了一套能够反映城镇化水平与城乡居民收入差距之间的关联性的指标体系,实证分析了城镇化与收入差距之间的动态联系,并通过单位根检验发现泰尔指数和城镇化率都是一阶单整的。在进一步的协整检验中,还发现泰尔指数与城镇化率之间存在着长期均衡关系,误差修正模型的结果表明城镇化率与城乡居民收入差距之间的短期波动关系不明显。由此提出了以缩小居民收入差距来推进武汉新型城镇化建设的组合性政策建议。

姓 名	陶 静
职 位	教授
部 门	经营学部
业 绩	
<p>(8)「中国会计制度的改革－有关『小企业会计准则』的考察」,日本会计研究学会第77次大会的学习讨论小组最终报告「现代中国会计的多面化综合研究－以历史性观点・制度比较分析为基础－」第6章,2018年9月。</p> <p>简介:</p> <p>本报告是日本会计研究学会第77次大会的学习讨论小组最终报告「现代中国会计的多面化综合研究－以历史性观点・制度比较分析为基础－」的第6章。</p> <p>主要就中国会计制度改革支柱之一的『小企业会计准则』的内容和特征进行了考察。考察的方法是着眼于「小企业会计制度」的历史变迁,就其内容和特征的变化进行了阶段性的分析及总结。最终就『小企业会计准则』的现状和问题点进行了阐述,并展望了中国的「小企业会计制度」的未来。</p>	



中国語版内容紹介.
docx

姓 名	黎晓妮
职 务	教授
所在部门	经营学部 商学科
科 研 成 果	
<p>【论文】</p> <p>从语法结构角度浅析公示语日译汉翻译中的语言相互影响</p> <p>黎晓妮 冈山商大论丛 第56卷第3号 (pp.77-93) 2021年3月</p> <p>【摘要】</p> <p>“公示语”是指在公共场所面向公众展示的、具有特殊的交际功能以及信息提供、指示警示等功能的语言，如日常生活中最常见的路标、指示牌、标语、旅游简介等。公示语的翻译对于一个开放的现代国家、城市来讲是至关重要的。</p> <p>本论文以设置在日本旅游观光地、为访日中国游客提供方面的景点牌示的汉语翻译为案例，分析了日语和汉语的语法结构差异所造成的误译现象，归纳了导致误译的具体原因，为提高公示语翻译质量提出了借鉴和参考。</p>	

姓 名	渡边宪二
职 称	教授
所 属	経営学科
業 績	
<p>【学術論文（査読付き）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国における大学生のキャリア選択と就労意識に関する実証分析,岡山商大論叢, 第56巻第2号, pp.111-124, 2020年12月（査読付） ・中国における日本語学習者の学習行動と意識構造に関する研究, 岡山商大論叢, 第56巻第1号, pp.35-49, 2020年6月（査読付） ・岡山県におけるジビエ利活用に関する一考察, 岡山商大論叢, 第55巻第3号, pp.119-134, 2020年3月（査読付） ・中国における若年層の生活習慣と健康意識に関する研究 - 遼寧省大連市における大学生のアンケート調査から -, 開発学研究, 第28巻第2号, pp.9-17, 2017年（査読付） ・中国における若年層消費者の牛乳購買行動に関する研究, 共生社会システム研究, Vol.9, No.1, pp.132-148, 2015年（査読付） ・中国における牛乳の消費者選択行動に関する定量分析, 開発学研究, 第24巻第3号, pp.90-95, 2014年3月（査読付） ・中国における牛乳の価格形成に関する計量分析, 開発学研究, 第23巻第3号, pp.51-57, 2012年3月（査読付） ・中国における牛乳流通経路の組織間関係に関する研究 - 内蒙古蒙牛乳業集団股份有限公司を事例に -, 農業経営研究, 第49巻第3号（通巻150号）, pp.109-114, 2011年（査読付） ・飼料用米を利用した畜産物への消費者意識 - パルシステムにおける「日本のこめ豚」の事例をもとに -, 農業経営研究, 第48巻第3号（通巻145号）, pp.48-53, 2010年（査読付） 	

- ・産業集積地における立地評価と地域構造－中国大連市によるアンケート調査からの一考察－,共生社会システム研究, Vol.3, No.1, pp.48-62, 2009年(査読付)
- ・日系企業における立地評価の構造分析,開発学研究, 第19巻第3号, pp.15-21, 2009年(査読付)
- ・中国経済における資本形成のメカニズム,中国経済研究, 6巻1号, pp.35-47,2009年(査読付)
- ・経営および地域における課題に関する認定農業者の意識構造へのアプローチ－自由記入欄の定量的分析－,農村研究, 第108号, pp.53-63, 2009年(査読付)
- ・地域特産物の品質管理に関する経済学的研究,2008年度農村計画学会誌論文特集号, 27巻, pp.323-328, 2009年(査読付)
- ・中国における酪農・トウモロコシ需給構造のシミュレーション分析,日本農業経済学会論文集, pp.526-533, 2008年(査読付)

【書籍・その他(査読無し)】

- ・中国大連市における複合型人材育成プログラムに関する一考察－卒業生を対象に行ったアンケート調査を基に－, 日本国際地域開発学会, 2021年6月(学会報告)
- ・COVID-19におけるTwitterの利用傾向に関する探索的研究,『情報知識学会誌』Vol.31, No.2, pp.204-210, 2021年5月(学会報告)

訳: Exploratory Research on Twitter Usage Trends of COVID-19, Journal of Japan Society of Information and Knowledge, Vol.31, No.2, pp.204-210, May 2021

Abstract:

The spread of COVID-19 affects not only social changes but also personal lives and behaviors. Therefore, we focused on the content of Twitter with the aim of clarifying people's thoughts and social reactions. Twitter often posts various information and opinions in real time.

By analyzing the contents of Twitter, it will be possible to utilize it for future correspondence and efforts for COVID-19. In this study, we analyzed the contents of Twitter of COVID-19 from text mining.

・炎上の早期解決を促す情報解析システムの実現のため,発言の立場ごとに発言内容を分類する手法の研究,『情報知識学会誌』Vol.31, No.2, pp.258-263, 2021年5月(学会報告)

・大学生のキャリア意識に関する実態調査ー中国の外国語大学を事例としてー, 中央学院大学社会システム研究所紀要, 第21巻, 第1号・第2号合併号, pp.21-31, 2021年3月

訳: 中国大学生職業意識現状調査ー以中国外国語大学为例, Proceedings of the Research Institute of Social Systems, CGU, 第21巻, 第1号・第2号合併号, pp.21-31, 2021年3月

摘要:

自1999年中国高校全面扩招以来,高校学生数剧增,2019年已达到3031.5万余人,仅2019年毕业生人数为758.5万人。随着高校招生人数的扩大,因高学历的普及而引起的就业竞争严峻,大学生就业指导已成为各高校的主要职责。本研究针对中国六所外国语大学的464名在校生进行了职业价值观相关的问卷调查,旨在准确把握高校职业教育指导现状,以及对学生职业价值取向和结构是否起到了有效的作用。

・「第5章岡山県における野生鳥獣被害とジビエ利活用ー美作市を事例としてー」,井尻昭夫・大崎絃一・三好宏編『「寄り添い型研究」による地域価値の向上』,大学教育出版,pp.60-78,2021年3月(分担執筆)

・岡山県における鳥獣被害の現状と課題,岡山商大論叢,第55巻第2号,pp.133-149,2019年12月

・笠岡ベイファームの社会的価値に関する実証的研究,岡山商大論叢,第54巻第3号,pp.87-99,2019年3月

・岡山県における道の駅の利用状況に関するー考察ー道の駅笠岡ベイファームを事例にー,岡山商大論叢,第54巻第2号,pp.95-107,2018年12月

・岡山県における地域資源の利活用と地域振興ー道の駅笠岡ベイファームを事例としてー,岡山商大論叢,第54巻第1号,pp.103-115,2018年6月

・「第16章地域特性におけるフードビジネスと地域振興ー岡山県総社市のパンを事例にー」,井尻昭夫・江藤茂博・大崎絃一・松本健太郎編『フードビジネスと地域ー食をめ

- ぐる文化・地域・情報・流通』, ナカニシヤ出版, pp.211-222, 2018年3月(分担執筆)
- ・中国における日本語学習者の学習方法と学業成績に関する一考察, 岡山商大論叢, 第53巻第2号, pp.69-81, 2017年12月
 - ・中国における若年層の牛乳消費と選択行動, 岡山商大論叢, 第53巻第1号, pp.119-129, 2017年6月
 - ・中国における生活習慣と主観的健康感に関する一考察, 岡山商大論叢, 第52巻第3号, pp.27-36, 2017年2月
 - ・中国における日本語学習者の学習意欲と対日イメージに関する研究, 岡山商大論叢, 第52巻第2号, pp.23-37, 2016年11月
 - ・中国における若年層の食習慣とBMIに関する一考察, 岡山商大論叢, 第52巻第1号, pp.77-90, 2016年6月
 - ・中国における若年層のストレス対処能力SOCと生活習慣, 岡山商大論叢, 第51巻第3号, pp.51-61, 2016年3月
 - ・中国における所得水準と消費構造に関する一考察, 岡山商大論叢, 第51巻第2号, pp.31-49, 2015年11月
 - ・中国における牛乳の購買行動と消費者評価—選択実験によるアプローチ—, 岡山商大論叢, 第51巻第1号, pp.215-224, 2015年5月
 - ・中国における若年者の生活習慣と健康意識, 岡山商大論叢, 第50巻第3号, pp.1-10, 2015年2月
 - ・中国における飲料の消費者行動に関する研究—若年層消費者によるアンケート調査から—, 岡山商大論叢, 第50巻第2号, pp.1-12, 2014年11月
 - ・中国の過剰労働力と就業構造に関する研究, 岡山商大論叢, 第49巻第3号, pp.137-152, 2014年2月
 - ・中国における米の価格形成要因に関する実証分析, 岡山商大論叢, 第49巻第2号, pp.23-34, 2013年11月
 - ・マイナークロップ消費に関する実証研究—暮坪かぶを事例として—, 科研報告書: 課題番号17380130, 2008年

- ・マイナークロップの品質管理に関する経済学的研究，科研報告書：課題番号 17380130，2008 年
- ・マイナークロップ生産の技術的変革－耕畜連携システムの開発導入に関する経済評価－，科研報告書：課題番号 17380130，2008 年
- ・食料消費の地域性－推計モデルと米消費－，科研報告書：課題番号 17380130，2008 年
- ・(書評) 大隅満・中道仁美・村田武編著『ゼミナール 現代社会と食料・環境・農業』，農村計画学会誌，27 卷，4 号，pp.394-395，2009 年

姓名	韩云冬
职务	副教授
所属院系	岡山商科大学経済系
业绩	
<p>简论汉日翻译(论文)</p> <p>汉语和日语本属于两个不同的语族，但由于都使用汉字，所以会造成误解，望文生义会导致很多使用错误。本论文结合汉日翻译(以笔译为中心)课堂上常出现的一些错误，对汉日翻译过程中需要注意的问题以举例形式进行了归纳总结，并分析其背后的文化背景。以便对笔译感兴趣的学生以及同仁供以参考。</p>	

姓 名	于琳
职 称	副教授
所属院系	经营学院经营系
业 绩	
<p>・于琳（2015）「2013 年中国增长企业与成熟企业的经营环境的比较—中国广西经营者调查数据分析—」『经营学论集第 85 集』、1-11 頁、日本经营学会编、千仓书房。</p> <p>【概要】（中国語）（中国語（簡体字、中国 Microsoft Pinyin）</p> <p>本论文利用第 2 次对中国的经营者(130 名)见面询问调查数据与 2003 年的第 1 次调查数据作比较,对增长企业与成熟企业的经营环境进行了比较研究。其结果表明两者有显著的差别。增长企业与成熟企业相比,①原材料和零部件・商品等的进货价格有上升趋势。②人才招聘、储备容易,失业率低。③投资和市场销售的机遇「丰富」,产品种类多,顾客需要和爱好也比较多元化。也就是说,增长企业的市场具有多元化特征。④交易系列和物流渠道变化大,渠道多。此外,还得到与成熟企业相比较增长企业集资金容易的结果。本论文作为时间系列的实证研究得到了日本经营学会的好评。</p>	

姓 名	内田太
职 务	讲师（講師）
所 属	岡山商科大学経営系商学科（岡山商科大学経営学部商学科）
成 就	
<p>创建面向未来的商业教育 ~以实践学习为重点的新课程的实施方案 商业教育》（第 59 期），2011 年 11 月 10 日（合著）。</p> <p>冈山县的初中毕业生人数预计将从 2011 年的 100%减少到 2025 年的 86%。 鉴于这种情况，商业教育需要提高教师的素质，加强职业指导， 特别是培养对未来有用的知识和技能。 我们需要促进商业教育，使学生了解社会，鼓励他们认为专业将支持他们的未来， 并且有足够的实力帮助他们找到工作。（截至 2021 年 8 月 1 日）</p> <p>未来を拓く商業教育の創造 ～実学を柱とした新教育課程の実施に向けて～ 商業教育（59 号）2011 年 11 月 10 日（共著）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県の中学校卒業予定者が 2011 年を 100 とした時 2025 年には 86 となり、 多くの卒業生が減少する事態となっている。 <p>商業教育はこの事態を踏まえ教員の資質向上、進路指導の充実、特に将来仕事に役立つ知識や技術を育成する必要がある。生徒に社会を意識して学習させ専門性が将来の支えという考えを身につかせる商業教育を推進し、就職に強い商業教育を推進していかなければならない。（2021 年 8 月 1 日現在）</p>	

姓名	陳惠貞
職稱	講師
系所	經營學系經營學科
業 績	
<p>■學會發表■</p> <p>「新冠疫情下台灣物流業的影響-以網路電商為例-」（單獨發表，2021年8月26日，日本物流學會中四國支部，線上發表）</p> <p>發表概要</p> <p>台灣地區的物流在新冠疫情影響下，3C家電零售持續爆發、百貨賣場營收跌幅擴大，多數電商再創成長高峰。大量訂單湧入使得電商物流業者應接不暇，配送量倍增導致配送人力不足，衍生出延遲配送的情況。但是「momo」大型電商的因應措施值得其他同業參考。其因應手段源自於2020年投入短鏈物流倉儲（衛星倉）擴點，於疫情間發揮成效，讓2021年5月營收達到81.3億元，創下新高。同時，「momo」電商應用自動化系統，限制可下單數量，減少物流負擔，大幅減少客訴，降低客服成本因而在疫情下獲得不錯的銷售成績及口碑。除此之外，新冠疫情影響下，消費者對於生鮮配送需求爆增。今後，台灣地區的物流業者對於冷鏈技術的提升及其配送量有其改進的必要性。</p>	

성명	키토우 유우키
직위	조교수
소속	법학부 법학과
업적	
<p>【논문】 (단독)</p> <p>키토우 유우키, 별단예금과 상계에 관한 한국법의 전개, 비교사법 제 28 권 제 2 호, 비교사법학회, 2021, 149-180 면(한국어)</p> <p>【초록】</p> <p>금융거래실무에서 어음채무자가 당해 어음에 일정한 사유가 발생하였다면 지급은행에 대하여 그 어음의 지급정지를 의뢰하는 동시에 어음금 상당액을 예치할 때가 있다. 지급은행에 예치된 이 금전을 일반적으로 “별단예금”이라고 부르는데, 이 별단예금을 둘러싸고 어음소지인과 지급은행 사이에서는 다음과 같은 분쟁이 생긴다.</p> <p>즉, 어음소지인은 자기가 어음채무자에게 가진 어음금채권을 이 별단예금에서 회수하려고 하는 반면, 지급은행은 자기가 어음채무자에게 가진 대출금채권 등을 어음채무자가 은행에 가진 별단예금반환채권과 상계함으로써 자기 대출금채권을 별단예금에서 회수하려고 한다. 이러한 경우, 은행의 상계는 허용되는가 아닌가라는 문제가 본 연구가 대상으로 하는 “별단예금과 상계”의 문제이다.</p> <p>이 연구는 일본의 학자로 한국법을 연구하는 필자가 한일비교민사법연구의 관점에서 “별단예금과 상계”에 관한 한국법의 전개를 검토한 것이다.</p> <p>이 논문에서는 “별단예금과 상계”에 관한 일본법과 한국법의 전개를 각각 정리하며 양자의 비교검토를 통하여 다음과 같은 한국법의 특징을 밝혔다. 즉, ① 대법원 1989.1.31. 선고 87 다카 800 판결이 1987.1.5. 어음교환소규약 개정 “전”과 “후”에서 발생한 정당한 어음권리자에 대한 보호의 격차를 해소하기 위하여 일본 판례와 달리 상계권 남용 이론을 통하여 별단예금반환채권을 수동채권으로 한 은행의 상계를 부정한 것, ② 일본의 부도처분심사청구제도와 달리 한국에서는 “사고신고담보금제도”가 도입되었고 이것에 의하여 정당한 어음권리자로 판명된 어음소지인의 권리를 직접적으로 보장할 법 구조가 구축된 것, ③ 한국에서는 어음교환소규약 개정에 따라 어음소지인 등이 소송계속 중임을 입증하는 서면을</p>	

지급은행에 제출한 바가 없고, 지급제시일로부터 6개월이 경과한 경우에 지급은행이
별단예금반환채권을 수동채권으로 한 상계를 주장할 수 있는가라는 새로운 문제가
발생하고 있는 것 등이다. 그리고 한국법의 “별단예금과 상계”에 관한 문제의
핵심이 상계적상의 발생시기 특히 “상호대립성” 요건의 충족에 있는 것을 지적했다.

氏 名 성명	서 윤정
役 職 직위	준교수
所 属 소속	경영학부상학과
실적	
<p>【논문】 (단독) 「베지테리안/비건에 대한 일본의 대응 방안-방일 외국인 여행자의 실태 조사-」 『오카야마상대논총』 제 57 권 제 1 호, pp. 35-57.</p> <p>【초록】</p> <p>최근 전세계적으로 증가 추세에 있는 베지테리언과 비건에 대하여 일본은 2020 동경올림픽/패럴림픽을 계기로 높은 관심을 보이고 있는 가운데 농림수산성과 관광청에서 외국인 여행자들의 다양한 식생활에 대응할 수 있도록 가이드북을 제작 발표하였다. 그러나 음식점들이 가이드 북을 도입하여 실행하기에는 어려운 점이 많아 성과가 미흡한 것으로 평가되었다.</p> <p>그러므로 본 연구에서는 음식점들의 베지테리언과 비건을 대상으로 한 정보제공 측면에 대하여 심도있게 다루어 보았다. 또한, 지방의 사례로 오카야마현을 방문한 여행자들의 의견을 심도있게 살펴보았다.</p>	

氏 名 성명	全 円子 전 원자
役 職 직위	准教授 준교수
所 属 소속	経営学部商学科 경영학부상학과
業 績 실적	
<p>【논문】(단독) 「친일 문학작품 속의 영합과 저항-이광수의 일본어 소설」 청심어문 제 9 호 2007 년</p> <p>【초록】</p> <p>한국 근대문학의 제 1 인자인 이광수는 2009 년 친일반민족행위자로 결정되었다. 친일 문학인으로 문단에서 인정받기 어려운 이광수(카야마미쓰로)의 친일 작품인 일본어 소설에 대하여 작가의 시국에 대한 “영합과 저항”을 살펴본다.</p>	

Name	Isao Nishiura
Stelle	Speziell ernannt Professor
Abteilung	Juristische Fakultät
Leistung	
<p>Wer bestimmt die Schutzbereiche der Grundrechte?</p> <p>Okayama-Shoka Recht Revue Nr.4 1996, S.33-50.</p> <p>Auszug</p> <p>Bundesverfassungsgericht(Beshluß v.11.4.1972, Eidverweigerung-Schluß) betonte die Rolle der Grundrechtsverständnis vom Bürger in der Bestimmung der Schutzbereiche der Grundrechte. In der deutschen Verfassungslehre “Grundrechtssubjektivismus” im weiteren Sinne und seine Kritiker stehen über der Eidverweigerung-Beschluß gegenüber. P.Häberle und M.Morlok behaupten die Offenheit der Grundrechtsinterpreten. Aber Morlok beshränkt die Offenheit der Grundrechtsinterpreten auf Freiheitsrechte. Andererseits J.Isensee und W.Höfling betonen den Vorrang der Grundrechtsinterpretation vom Staat. Aber Höfling verneinet nicht ganz die Offenheit der Grundrechtsinterpreten. Die Meinungsverschiedenheit entspringt aus dem Unterscied des Verständnis über die Bedeutung der Verfassungsinterpretation. Und sie gründet sich auf die Erkenntnis über das Verhältnis zwischen Staat und Bürger und den Begriff der Volkssouveränität.</p>	

Name	Eri KATSUKI
Postentitel	Professor
Zugehörigkeit	Fakultät für Betriebswirtschaft
Veröffentlichung	
Eichmann und die Banalität des Bösen	
<p>H. Arendt hat mit ihrer Reporgage „<i>Eichmann in Jerusalem</i>“, besonders mit der Formulierung „Banalität des Bösen“ eine wilde Kontroverse ausgelöst. Arendt wurde vorgeworfen, daß sie versuche, das Verbrechen Eichmanns mit diesem Adjektiv „banal“ zu unterschätzen. Die Philosophin Bettina Stangneth hat sich für „Eichmann vor Jerusalem“ interessiert und sowohl das „Sassen-Transkript“ als auch die Aufzeichnungen, die Eichmann in der Zelle in Jerusalem geschrieben hat, genau studiert. Ihr Fazit ist, daß Eichmann in Jerusalem „eine perfide Show abgezogen“ hat, um seine Bedeutung herunterzuspielen und daß sogar Arendt auf seine Taktik hereingefallen ist. Hat Arendt Eichmanns Schauspiel nicht durchschauen können und über ihn falsch geurteilt? Was bei Eichmann auffällig ist, ist sein Ehrgeiz, unbedingt Karriere zu machen. Er wollte in Argentinien nicht ruhig in der Anonymität leben. Daher hat er sich das eigene Grab geschaufelt. Was Eichmann zu seinem Verbrechen leitete, war auch seine Ehrgeiz und die Unfähigkeit, sich in die Rolle der anderen Menschen zu versetzen und seine Realitätsferne. In dieser Hinsicht trifft das Wort „banal“ gut für das Verbrechen von Eichmann.</p>	

Name	Eiji Takizawa
Position	Professor
Zugehörigkeit	Juristische Fakultät
Ergebnisee	
<p>Die actio utilis institoria in den byzantinischen Rechtsquellen, in D. Nörr u. S. Nishimura (Hrsg.), Mandatum und Verwandtes, Springer-Verlag, 1993, S. 111-116.</p> <p>Zusammenfassung</p> <p>Wir gelangen zu dem Ergebnis, daß schon zur Zeit Justinians verschiedene Meinungen über die Voraussetzungen der actio utilis institoria vertreten wurden. Nach meiner Meinung resultieren diese aus dem byzantinischen Verständnis der Begriffe institor und actio institoria. Zwar verwenden ältere Juristen manchmal die griechisch geschriebenen Ausdrücke. Der griechische Terminus technicus lautet jedoch (lateinisch) praepositus bzw. actio adversus eum, qui praeposuit. Während die klassischen Juristen sich des juristischen und sozialtypischen Begriffs des institor bewußt waren, ist es für die byzantinischen Juristen, die den Geschäftskreis in Betracht ziehen, ohne Bedeutung, ob die betreffene Person procrator, vilicus, libertus, oder amicus ist.</p>	